

(別紙様式1)

令和3年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：高知県
農業委員会名：宿毛市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年3月1日現在)

1 農家・農地等の概要

		農家数(戸)	
総農家数		499	
自給的農家数		199	
販売農家数		303	
	主業農家数	87	
	準主業農家数	29	
	副業的農家数	187	
※ 農林業センサスに基づいて記入。			

		農業者数(人)	
農業就業者数		632	
	女性	272	
	40代以下	99	
※ 農林業センサスに基づいて記入。			

		経営数(経営)	
認定農業者		70	
基本構想水準到達者		35	
認定新規就農者		5	
農業参入法人		4	
集落営農経営		6	
	特定農業団体	0	
	集落営農組織	6	
※農業委員会調べ			

単位:ha

	田	畑	普通畑	樹園地	牧草畑	計
耕地面積	1000	223				1230
経営耕地面積	527	187	43	141	3	714
遊休農地面積	13.2	0.4	0.4			13.6
農地台帳面積	1167	638	635	2	1	1805

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 令和 5 年 7 月 1 9 日

	農業委員			定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	11	11				
認定農業者	—	6				
認定農業者に準ずる者	—	1				
女性	—	0				
40代以下	—	3				
中立委員	—	1				

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	7	7	7

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	1230ha	104.5ha	8.50%
課 題	農業従事者の減少、高齢化等により、遊休農地が増加しているが、条件の悪い場所が多く、担い手への利用集積につながりにくい。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 10 ha (うち新規集積面積 5 ha)
	目標設定の考え方:制度の周知や細やかな指導で達成が見込まれると思われるため
活動計画	円滑な貸借ができるよう、パンフレット等を活用し、利用権設定制度等の周知をする。 夏場の農地パトロール実施後(9月以降)は、その結果を踏まえ、担い手や所有者に指導や声かけを行う。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅲ 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	平成30年度新規参入者数	令和元年度新規参入者数	令和2年度新規参入者数
	2経営体	2経営体	2経営体
	平成30年度新規参入者が取得した農地面積	令和元年度新規参入者が取得した農地面積	令和2年度新規参入者が取得した農地面積
	0.5ha	0.5ha	0.37ha
課 題	新規参入のため農地取得を検討しても、相続登記等がされていない等の理由で、権利設定が困難な場合がある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

参入目標数	2経営体	参入目標面積	1ha
活動計画	4月、12月のイベントの際に、農地相談コーナーを設置し、新規参入者等に対し農地に関する相談に乗る。また産業振興課が農協、担い手協議会とも連携して担い手確保に取り組んでいるため、農業委員会も協力していく。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	1242.9ha	13.6ha	0.85%
課 題	遊休化している農地の中には条件の悪い場所が多く、解消につながりにくい。		

- ※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入
※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び活動計画

目 標		遊休農地の解消面積 3 ha		
		目標設定の考え方:遊休農地面積の10～20%にて設定。所有者等への指導で、徐々にでも解消に導けるのではないかとと思われるため。		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期
		23人		7月～9月
		調査結果取りまとめ時期 9月～10月		
	調査方法	必要図面等を整えておくとともに、事前に広報等で周知を行う。 8月頃に農業委員会と産業振興課との合同で調査実施。 宿毛市全体をより詳細に調査するため、5班に分かれてパトロールを行う。		
	農地の利用意向調査	実施時期		調査結果取りまとめ時期
		10月～12月		1月～3月
	その他	随時、農業委員会委員による声かけ、指導を行う。		

- ※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入
※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない
※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

Ⅴ 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和3年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	1805ha	0ha
課 題	違反転用が発生した際の迅速な把握。	

- ※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の活動計画

活動計画	未然防止のため、日頃より農地転用許可について周知する。 また、夏場に実施予定の農地パトロールにて違反転用のチェックも行う。
------	--

- ※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入